

**天草地域の促成栽培における葉かび病耐病性ミニトマトの品種特性**

「CF 千果」に比べ可販果収量の多い「ルビーラッシュ」は、1 果重は軽く、裂果が多い。同程度である「MKS-T804」は 1 果重が重く、裂果はやや少ない。また、いずれの品種も糖度が高い。可販果収量は少ないものの最も糖度が高い「SC9-049」は、果肉がやや硬く食感が劣る。

農業研究センター天草農業研究所 (担当者: 鶴田伸二)

**研究のねらい**

天草地域ではミニトマトの栽培が行われているが、近年、葉かび病耐病性品種として「CF 千果」が導入されているものの、裂果の発生等で十分な収量が確保できていない。そこで、「CF 千果」に比べ、優良な品種を選定し、ミニトマトの生産安定を図る。

**研究の成果**

1. 可販果収量は、「CF 千果」に比べ、「ルビーラッシュ」がやや多く、「MKS-T804」は同程度、「CF 小鈴」と「SC9-049」はやや少ない (図 1)。
2. 1 果重は、「MKS-T804」と「SC9-049」が重く、「ルビーラッシュ」と「CF 小鈴」は軽い (図 1)。また、階級割合は、「MKS-T804」、「SC9-049」は「CF 千果」と同様に、L、M 級が中心であり、「ルビーラッシュ」と「CF 小鈴」は、M、S 級が中心である (図 2)。
3. 不良果のうちいずれの品種でも高い裂果の割合は「CF 千果」に比べ「ルビーラッシュ」は高く、「MKS-T804」と「CF 小鈴」はやや低く、「SC9-049」は低い (表 1)。
4. 完熟果の糖度は、「CF 千果」に比べいずれの品種も高い。栽培期間を通して、最も高いのは、「SC9-049」であり、「ルビーラッシュ」と「MKS-T804」は同程度、次いで「CF 小鈴」である (図 3)。
5. 食感は、「MKS-T804」、「ルビーラッシュ」、「CF 小鈴」は「CF 千果」と同等であり、果肉の硬い「SC9-049」はやや劣る (表 2)。

**普及上の留意点**

1. 本試験は、天草農業研究所内のビニールハウスで行い、栽培期間中の葉かび病の発生はなく、定植を第 1 花房開花期に行い、斜め誘引法、収穫期を果実全体に着色が進んだ完熟期とした結果である。
2. 促成栽培においては、夏季の土壌消毒等を徹底するとともに、適期苗の定植を行う。

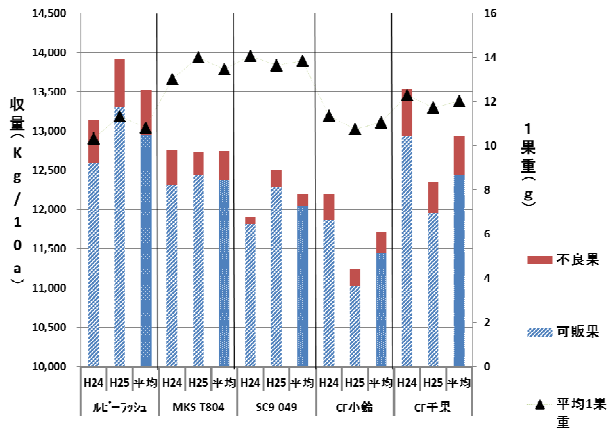


図1 ミニモトの総収量および可販果収量と1果重

注1) 定植: H24 8.2b, H25 8.2b  
 注2) 収穫期間: H24 11.14~11.25, 5.31, H25 11.11~11.26, 5.30  
 注3) 基植密度: 2,000株(畝幅200cm×株間50cm, 2条植え)  
 注4) 基肥N:P:K205:K20=12:20:10kg/10a 追肥N:P:K205:K20=14:5:7kg/10a  
 注5) 可販果収量+不良果収量=総収量

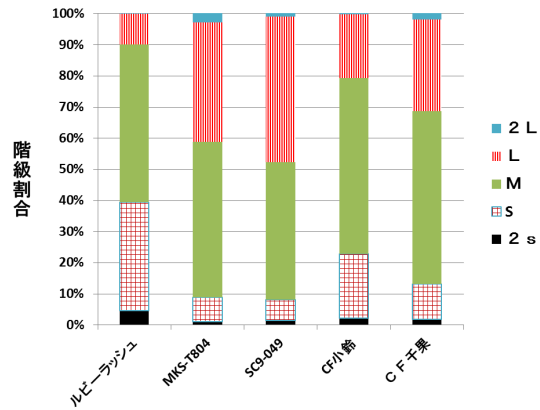


図2 可販果の階級割合

注1) 図中の平成24年と平成25年の平均値。

表1 不良果の原因別収量

	品 種	原因別収量 (kg/10a)			
		裂果	基部緑	過熟果	その他
H24	ルビーラッシュ	229 (3.5)	31 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
	MKS-T804	159 (2.5)	61 (1.0)	0 (0.0)	2 (0.0)
	SC9-049	18 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.0)
	CF小鈴	112 (1.9)	53 (0.9)	0 (0.0)	2 (0.0)
	CF千果	260 (3.9)	40 (0.6)	0 (0.0)	2 (0.0)
H25	ルビーラッシュ	444 (3.0)	4 (0.0)	138 (1.0)	16 (0.1)
	MKS-T804	172 (1.4)	4 (0.0)	70 (0.6)	47 (0.4)
	SC9-049	18 (0.2)	0 (0.0)	82 (0.7)	116 (0.9)
	CF小鈴	116 (1.1)	0 (0.0)	88 (0.8)	20 (0.2)
	CF千果	288 (2.4)	6 (0.0)	68 (0.6)	54 (0.4)

注1) ( )内は総収量に対する割合。%。  
 注2) その他は、すじ腐果、変形果、軟果等。

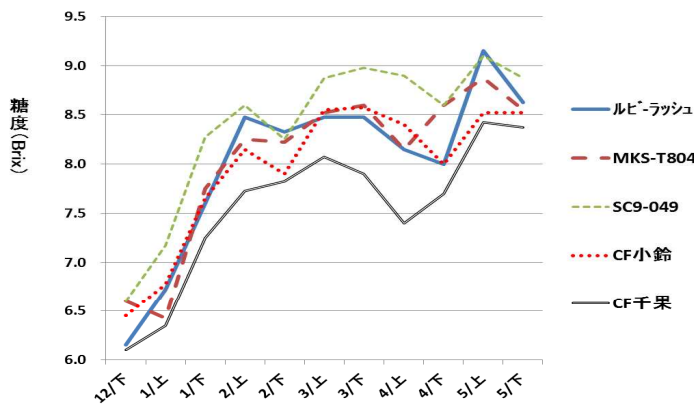


図3 品種別果実糖度の推移

注1) 図中のデータは平成24年と平成25年の平均値。  
 注2) 平均糖度: 「ルビーラッシュ」8.0度、「MKS-T804」8.1度、「SC9-049」8.4度、「CF小鈴」8.0度、「CF千果」7.6度。

表2 食感評価

品 種	食 感	果 皮	果 肉
ルビーラッシュ	○	薄	軟
MKS-T804	○	中	中
SC9-049	△	中	硬
CF小鈴	○	中	中
CF千果	○	薄	中

注1) 平成26年2月21日、職員数名で評価した。